



サルビア

令和4年6月7日 第22号

給食訪問指導を実施しています

給食の時間に、森田栄養士と調理場の職員の方による訪問指導が行われています。新型コロナウイルス感染症のため昨年度は実施を見送っていましたが、今年度は写真のように児童との距離をとりながら実施しています。

6月3日(金)は2年生への訪問指導でした。「見えないけれど手にはたくさんのばい菌がついていますよ。しっかり洗いましょうね」と、紙芝居を活用して「手を洗ってから食事をする」ことの大切さを教えていただきました。



しっかりお話を聞いています。



衛生には特に気をつけたい時期です。



職員室前の食育コーナーです。毎回工夫を凝らした掲示物で子どもたちの食への関心を高めています。写真は「噛(か)むこと」の大切さを伝える掲示物です。「ひみこのはがいでーぜ」が合い言葉です。ひらがなの部分をめくると「噛むことの8つの効果」があらわれるという仕組みです。

タブレットの充電を忘れずに

学校ではベネッセコーポレーションの担当の方に来ていただき、パソコン・タブレットの指導をお手伝いいただくことがあります。月に数回ですが、専門の方にアドバイスをいただく貴重な機会です。子どもたちもずいぶんタブレットの扱いに慣れてきており、その吸収する力には驚かされます。先日、その担当の方が「校長先生、今日はとても楽しい内容だったのにタブレットを充電してこなかった子がいたんです。とても残念です。」と教えてくださいました。

教室では意見交換や、調べ物などタブレットの活用場面が増えていきます。削った鉛筆や消しゴムを筆箱に準備することと同じようにタブレットの充電を学習の準備として忘れずに行うよう習慣づけていきましょう。

